

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文B	3	普通 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
改訂版 標準現代文B	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の様々な作品に接し、読解力、思考力を養う。 ・漢字、ことばの学習を通して、語句の定着を図る
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の理解 ・漢字、語句の習得 ・文学史の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字書取の小テスト ・ノート、課題の提出 ・授業に取り組む姿勢
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四	随想「ワスレナグサ」 【中間考査】
	五	小説「ひよこの眼」 【期末考査】
第2学期	七	評論「記憶のゆがみ」 小説「卒業」 【中間考査】
	九	評論「経験の教えについて」 【期末考査】
第3学期	十二	小説「山月記」 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典A	3	普通 コース	2	国語科

使用教科書等	出版社
高等学校 標準古典A 物語選	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	古文・漢文が正確に読めるようになる。内容を理解する。
---------	----------------------------

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	・基礎学力や内容理解の到達度をみる。	・提出物 ・小テスト ・授業態度
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈古文〉『枕草子』「鳥は」 【中間考査】
	五・六	〈漢文〉『十八史略』「水魚之交」 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈古文〉『大鏡』「弓争ひ」 〈漢文〉「漢詩の鑑賞」 【中間考査】
	十・十一	〈漢文〉『孟子』「仁人心也」 〈古文〉『更級日記』「門出」 【期末考査】
第3学期	十二・一 二・三	〈古文〉『源氏物語』「光る君誕生(桐壺)」 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文	3	進文 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
精選現代文B	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 評論を読解し、論理の展開や要旨を的確にとらえる力を身につける。 2. 小説を読解し、登場人物の生き方や心情の推移を的確に把握し、感性を養う。 3. 入試に対応できる語彙力と読解力及び表現力を身につける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	漢字の読み書き、ことば、現代文の基礎知識、応用力、読解力、表現力を評価する。	授業に取り組む姿勢、授業中の発表、提出物、確認テストで評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四	評論「言語と記号」(丸山圭三郎) 小説「檸檬」(梶井基次郎)
	五	【中間考査】 小説「檸檬」(梶井基次郎)
	六	評論「鏡の中の現代社会」(見田宗介) 【期末考査】
第2学期	七	小説「赤い繭」(安部公房)
	八	評論「平気一正岡子規」(長谷川權) 小論文対策
	九	【中間考査】
	十	評論「グローバル化のゆくえ」(山崎正和) 小説「俘虜記」(大岡昇平) 問題演習
	十一	【期末考査】
第3学期	十二	評論「抗争する人間」(今村仁司) 【期末考査】
	一	
	二	
	三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典B	3	進文 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
新編古典B 改訂版	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の基礎知識を習得し、古典文学の読解に利用できるようにする。 ・古典を読み味わい、日本および中国の古典文化に親しむ。 ・現代にも通じる古典の考え方や心に触れて自己の考えを深め、表現できるようにする。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の基礎知識を習得している。 ・基礎知識をもとに、古典を読解することができる。 ・古典のものの考え方と自己の考え方をと照らし合わせ、考察したことを表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を学ぶ意欲が日々の姿勢として表現できている。 ・提出物をきちんと出している。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ・ 5	<ul style="list-style-type: none"> ・『枕草子』清少納言 「中納言参りたまひて」「野分のまたの日こそ」 ・中間考査
	6 ・ 7	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文「先從隗始」 ・『大鏡』 「競べ弓」 ・期末考査
	8 ・ 9	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文『雑説』韓愈 ・『源氏物語』紫式部 「桐壺」 ・中間考査
第2学期	1 0 ・ 1 1	<ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』紫式部 「若紫」 ・漢文『三国志』 「水魚の交わり」「諸葛亮の死」
	1 2 ・ 1	<ul style="list-style-type: none"> ・『紫式部日記』紫式部 「和泉式部と清少納言」

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文	3	進理 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
精選現代文B	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	様々な文章に親しみ読解力や表現力を養うと共に漢字の読み書き、ことば及び現代文鑑賞の基礎知識を身につける。また受験生という立場でも有り、2学期以降の入試に向け、基礎学力を向上させ、さらに小論文などに応用させていかなければならない。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	漢字の読み書き、ことば、現代文の基礎知識、応用力、読解力、表現力を評価する。	授業に取り組む姿勢、授業中の発表、提出物、確認テストで評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期		〈評論〉 言語と記号 【中間考査】 〈小説〉 檸檬 〈評論〉 鏡の中の現代社会 【期末考査】
第2学期		〈小説〉 トランジット 〈評論〉 平気ー正岡子規 【中間考査】 〈評論〉 社会の壊れる時 〈小説〉 舞姫 【期末考査】
第3学期		〈小説〉 舞姫 期末考査

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典B	3	進理 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
新編 古典B 改訂版	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 2. 古典の読解力を身につけると共に、日本の伝統・文化への知識を深める。 3. 受験に対応できる力を身につける。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> 基本重要古語、古典文法の習得 適切な解答文の作成 文学史の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(宿題、自習課題) 小テスト 授業態度(他者との協働)
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈古文〉『沙石集』 児の飴食ひたること 『枕草子』 中納言参りたまひて 【中間考査】 〈古文〉『枕草子』 野分のまたの日こそ 〈漢文〉『先従隗始』 〈古文〉『大鏡』 競べ弓
	五・六	【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈古文〉『源氏物語』 桐壺 〈漢文〉『三国志』 水魚の交わり 【中間考査】
	十・十一	〈古文〉『源氏物語』 若紫 問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	〈古文〉『雨月物語』 浅茅が宿 問題演習 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文B	3	特文 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
精選 現代文B	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 評論を読解し、論理の展開や要旨を的確にとらえる力を身につける。 2. 小説を読解し、登場人物の生き方や心情の推移を的確に把握し、感性を養う。 3. センター試験に対応できる語彙力と読解力を身につける。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> 漢字・語句の習得 内容理解 適切な解答文の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(宿題、自習課題) ノートを取り方 小テスト 授業態度
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈評論〉 文学の未来 【中間考査】
	五・六	〈小説〉 檸檬 〈評論〉 鏡の中の現代社会 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈評論〉 社会の壊れる時 〈小説〉 トランジット 【中間考査】
	十・十一	〈評論〉 抗争する人間 センター対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	センター対応問題演習 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典B	3	特進文系 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
精選 古典B 改訂版	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. これまでの学習成果を踏まえ、より一層の言語能力の充実を図る。 2. 古典の読解力を身につけると共に、日本の伝統・文化への知識を深める。 3. 受験に対応できる力を身につける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> 基本重要古語、古典文法の習得 内容理解 適切な解答文の作成 文学史の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(宿題、自習課題) ノートを取り方 読みテスト 授業態度
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈古文〉『紫式部日記』(日記) 〈古文〉『世説新語』『韓非子』(逸話と寓話) 【中間考査】
	五・六	〈古文〉『枕草子』(随筆) 〈漢文〉「漢詩」 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈古文〉『大鏡』(物語) 〈漢文〉「荊軻」(史伝) 【中間考査】
	十・十一	〈古文〉『源氏物語』(物語) センター対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	〈古文〉『源氏物語』(物語) センター対応問題演習 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文B	3	特理 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
精選 現代文B	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 評論を読解し、論理の展開や要旨を的確にとらえる力を身につける。 2. 小説を読解し、登場人物の生き方や心情の推移を的確に把握し、感性を養う。 3. センター試験に対応できる語彙力と読解力を身につける。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> 漢字・語句の習得 内容理解 適切な解答文の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(宿題、自習課題) ノートを取り方 小テスト 授業態度
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期		〈評論〉 言語と記号 【中間考査】 〈小説〉 檸檬 〈評論〉 鏡の中の現代社会 【期末考査】
第2学期		〈小説〉 トランジット 〈評論〉 平気ー正岡子規 【中間考査】 〈評論〉 社会の壊れる時 センター対応問題演習 【期末考査】
第3学期		センター対応問題演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典B	3	特進理系 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
精選 古典B 改訂版	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. これまでの学習成果を踏まえ、より一層の言語能力の充実を図る。 2. 古典の読解力を身につけると共に、日本の伝統・文化への知識を深める。 3. 受験に対応できる力を身につける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> 基本重要古語、古典文法の習得 内容理解 適切な解答文の作成 文学史の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(宿題、自習課題) ノートを取り方 授業態度
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈古文〉『古今著聞集』(説話) 【中間考査】
	五・六	〈古文〉『枕草子』(随筆) 〈古文〉『世説新語』『韓非子』(逸話と寓話) 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈古文〉『大鏡』(物語) 〈漢文〉「荊軻」(史伝) 【中間考査】
	十・十一	〈古文〉『源氏物語』(物語) センター対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	〈古文〉『源氏物語』(物語) センター対応問題演習 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史 B	3	普通 コース	4	地理歴史

使用教科書等	出版社
高校 日本史B	山川出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	(1) 明治維新までの通史学習を通して、日本歴史の基礎知識を学ぶ。 (2) 対外交渉史、文化史を通して、日本の文化財・文化遺産についての学習を深める。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に定期考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度、ノート・課題等の提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1章 古代社会の形成
	5	1. 日本文化のはじまり 2. 農耕の開始 3. ヤマト政権と古墳
		【中間考査】
	5	第2章 律令国家の形成
	6	1. 律令国家の成立 2. 律令国家の繁栄 3. 律令国家の変質 第3章 貴族政治の展開 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 荘園の発達と武士の台頭
		【期末考査】
第2学期	7	第4章 武家社会の形成
	8	1. 院政と平氏 2. 鎌倉幕府の成立と発展 3. 鎌倉文化 4. 蒙古襲来と幕府の衰退
	9	第5章 武家社会の成長
		1. 室町幕府の成立 2. 下剋上の社会 3. 室町文化 4. 戦国の動乱
		【中間考査】
	10	第6章 幕藩体制の成立
	11	1. ヨーロッパ人の来航 2. 織豊政権 3. 江戸幕府の成立
	11	第7章 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定 第8章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 幕府の衰退
	【期末考査】	
第3学期	1	第9章 近代国家の成立
	2	1. 開国と幕府の滅亡 2. 明治維新
	1	【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
地理B	3	普通 コース	4	地歴科

使用教科書等	出版社
地理B	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	世界各地の自然環境や人々の暮らしを理解し、共存していくためにどのように関わり、生き方を身に付けるか考える。また、世界の諸地域について、個別に学習する。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期とも中間・期末考査を行い、それぞれ40%の評価割合とする。	日ごろの授業への取り組み方や学習態度、課題提出などに基づいた評価をする。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ・ 5	第2編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1 世界の地形 【中間考査】 2 世界の気候 3 世界の環境問題
	5 ・ 6	【期末考査】
第2学期	7 ・ 9	第3編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 1 中国 4 インド 【中間考査】
	10 ・ 11	5 西アジア・北アフリカ 7 ヨーロッパ 9 北アメリカ 【期末考査】
第3学期	1 2 ・ 1	第2章 現代世界の諸地域 2 日本と韓国 11 オーストラリアとカナダ 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
世界史B	3	進文 コース	4	地歴公民

使用教科書等	出版社
詳説 世界史B	山川出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	2学年で学んだことを深化発展させる。また現在起きる様々な事象に対して、学んだことをもとに比較検討する姿勢を養う。受験教科として得点取得の技術を習得させる。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに定期テストを実施し、得点で評価する。	普段の授業態度および提出物で評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四 ～ 五	第9章 近世ヨーロッパ世界 【中間考査】
	五 ～ 六	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第11章 欧米における代国民国家の発展 【期末考査】
第2学期	七 ～ 十	第12章 アジア諸地域の動揺 ～ 第14章 二つの世界大戦 【中間考査】
	十 ～ 十一	第15章 冷戦と第三世界の独立 第16章 現在の世界 【期末考査】
第3学期	十二 ～ 三	まとめと演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史B	3	進学文系 コース	4	地理歴史

使用教科書等	出版社
改訂版 詳説 日本史 日本史B	山川出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	我が国の歴史の展開を総合的に考察させ、日本の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる資質を養う。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に定期考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度、ノート・課題等の提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第3部 近世 第7章 幕藩体制の確立
	5	第8章 幕藩体制の動揺
	7	第4部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 【期末考査】
第2学期	8	第10章 近代日本とアジア
	5	【中間考査】 第11章 戦後日本の出発
	12	【期末考査】
第3学期	1	第12章 55年体制と経済成長
	5	【期末考査】
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史A	3	進学理系 コース	2	地理歴史

使用教科書等	出版社
日本史A 現代からの歴史	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近代史を理解し、今日の日本の基盤を考察する。 ・裏話やエピソードを多く取り入れ興味付けする。 ・出来事の背景を考えさせる。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、定期考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度・ノート・課題等の提出物の出来具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1章 国際環境の変化と明治維新 1, 19世紀世界の動向と日本 2, 開国と倒幕
	5	
	5	3, 明治新政府の諸改革と社会変化 4, 明治初期の外交と反政府運動
	6	
第2学期	7	第2章 近代国家の成立と国際関係の推移 1, 自由民権運動の展開 2, 立憲体制の成立 3, 日清戦争と国際関係
	10	
	1	4, 日露戦争前後の世界と日本 第3章 両世界大戦をめぐる国際情勢と日本 1, 帝国日本と第1次世界大戦 2, 政党政治と大衆文化
	10	
第3学期	1	3, 軍国日本への道 4, 太平洋戦争と日本
	2	
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
世界史B	3	特文 コース	4	地歴科

使用教科書等	出版社
改訂版 詳説 世界史	山川出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	近代社会の成立とともに欧米諸国による世界支配の構図が始まり、その後アジア・アフリカ諸国の勃興により現代社会が成立していく過程を学習し、現在の国際社会の特質を世界史全体の視野から理解する態度を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度、復習テストや課題等の提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容	
第1学期	4	第Ⅲ部 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 中間考査	
	5		
	6	第11章 欧米における近代国民国家の発展 第12章 アジア諸地域の動揺	
		期末考査	
	第2学期	7	第Ⅳ部 第13章 帝国主義とアジアの民族運動
		8	第14章 二つの世界大戦 中間考査
9			
10		第15章 冷戦と第三世界の独立 第16章 現在の世界 期末考査	
11			
第3学期	1	古代史からの総復習	
	2	期末考査	
	1		

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史B	3	特進文系 コース	4	地理歴史

使用教科書等	出版社
改訂版 詳説 日本史 B	山川出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	日本の歴史の展開を総合的に考察させ、日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に定期考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度、ノート・課題等の提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第3部 近世 第7章 幕藩体制の確立
	5	第8章 幕藩体制の動揺
	7	第4部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 【期末考査】
第2学期	8	第10章 近代日本とアジア
	5	【中間考査】 第11章 戦後日本の出発
	12	【期末考査】
第3学期	1	第12章 55年体制と経済成長
	5	【期末考査】
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史 A	3	特理 コース	2	地歴

使用教科書等	出版社
日本史 A 現代からの歴史	山川出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近代史を理解し、今日の日本の基盤を考察する。 ・裏話やエピソードを交えて興味や関心を持たせる。 ・時代背景を考えさせる。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物や出席状況、学習状況 ・ノートを取り方、創意工夫
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・第1章 近代日本の形成 1. 国際情勢の変化と明治維新
	5	
	5	<ul style="list-style-type: none"> 2. 明治新政府の諸改革
	6	
第2学期	7	<ul style="list-style-type: none"> 3. 立憲国家の成立 第2章 東アジア世界の変動と日本 1. 日清戦争と近代社会の確立
	10	
	10	<ul style="list-style-type: none"> 2. 日露戦争と帝国日本の形成
	11	
第3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・第3章二つの世界大戦と日本 1. 第一次世界大戦と帝国日本 2. 政党政治の時代
	2	
	3	期末考査

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
政治経済	3	普通 コース	2	地歴・公民科

使用教科書等	出版社
『高等学校 政治・経済』	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を持つ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事項や、その本質、特質及び動向を捉える基本的な概念を身につけているかどうかを年間5回の定期テストで判断する。	普段の授業に取り組む姿勢や提出物(ノート・課題プリント等)の内容、出欠席の状況などを総合的に判断し評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容	
第1学期	4	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 ⑨ 中小企業の地位と役割 ⑩ 農業の現状と課題 【中間考査】 ⑪ 消費者問題 ⑫ 高度情報化の進展と課題 【期末考査】	
	5		
	5		
6			
第2学期	7		⑬ 労働問題 ⑭ 社会保障制度の充実 ⑮ 環境保全と資源・エネルギー問題 【中間考査】 第2章 国民経済と国際経済 ① 国際経済のしくみ ② 国際協調と国際経済機関の役割 【期末考査】
	9		
	10		
11			
第3学期	1	③ 国際経済の諸問題と日本の役割 第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題 【期末考査】	
	2		

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
公民演習	3	進文 コース	3	地歴・公民科

使用教科書等	出版社
高等学校 改訂版 政治・経済	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	現代社会における政治、経済、国際関係などについて、客観的に理解を深めるとともに、問題演習を通して、大学受験に対応できる力を身につける。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	政治・経済・国際社会に関する基本的な概念や理論について理解し、その知識が定着しているかどうかを定期考査の得点により評価する。	出席状況、授業態度、提出物などで判断する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第2編 現代の経済 第1章 現代社会のしくみと特質 ⑧日本経済のあゆみ ⑨中小企業の地位と役割 【中間考査】 ⑩農業の現状と課題 ⑪消費者問題 ⑫高度情報社会の進展と課題 ⑬労働問題 【期末考査】
	5	
	5	
	6	
	6	
	6	
第2学期	7	⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題 第2章 国民経済と国際経済 ①国際経済のしくみ 【中間考査】 ②国際協調と国際経済機関の役割 ③地域的経済統合 ④グローバル化する経済 ⑤南北問題と日本の役割 【期末考査】
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
第3学期	1	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。
	2	
	3	
	1	【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
公民演習	3	進理 コース	2	地歴・公民科

使用教科書等	出版社
高等学校 改訂版 政治・経済	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	現代社会における政治、経済、国際関係などについて、客観的に理解を深めるとともに、問題演習を通して、大学受験に対応できる力を身につける。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	政治・経済・国際社会に関する基本的な概念や理論について理解し、その知識が定着しているかどうかを定期考査の得点により評価する。	出席状況、授業態度、提出物などで判断する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第2編 現代の経済 第1章 現代社会のしくみと特質 ⑧日本経済のあゆみ ⑨中小企業の地位と役割 【中間考査】 ⑩農業の現状と課題 ⑪消費者問題 ⑫高度情報社会の進展と課題 ⑬労働問題 【期末考査】
	5	
	5	
	6	
	5	
	6	
第2学期	7	⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題 第2章 国民経済と国際経済 ①国際経済のしくみ 【中間考査】 ②国際協調と国際経済機関の役割 ③地域的経済統合 ④グローバル化する経済 ⑤南北問題と日本の役割 【期末考査】
	9	
	10	
	11	
	11	
	11	
第3学期	12	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。 【期末考査】
	1	
	13	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
公民演習(政治・経済選択)	3	特文・特理 コース	2	公民

使用教科書等	出版社
高等学校 政治・経済	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を持つ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事項や、その本質、特質及び動向を捉える基本的な概念を身につけているかどうかを年間5回の定期テストで判断する。	普段の授業に取り組む姿勢や提出物(ノート・課題プリント等)の内容、出欠席の状況などを総合的に判断し評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	⑦財政のしくみとはたらき ⑧日本経済の歩み ⑨中小企業の地位と役割 ⑩農業の現状と課題 ⑪消費者問題 ⑫高度情報化社会の進展と課題
	5	【中間考査】 ⑨中小企業の地位と役割 ⑩農業の現状と課題 ⑪消費者問題 ⑫高度情報化社会の進展と課題
	6	【期末考査】
第2学期	7	⑬労働問題 ⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題
	8	【中間考査】
	9	第2章 国民経済と国際経済
	10	①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割 ③地域的経済統合他
	11	【期末考査】
第3学期	1	演習問題
	2	【期末考査】
	1	
	2 3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅱ	3	普通コース	3	数学科

使用教科書等	出版社
改訂 新数学Ⅱ / ニューファースト 改訂 新数学Ⅱ	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	教科書の基本的な内容をしっかりと理解させる。 必要な基本的計算力の習熟を目指す。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	学期毎に中間考査と期末考査(ただし、3学期は期末考査のみ)を実施し、その得点で評価を行う。	日常の学習態度や出席状況、課題レポートなどの提出状況及びノート検査等により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	3章 三角関数
	5	1節 三角関数
		【中間考査】
	5	3章 三角関数
	6	2節 加法定理
		【期末考査】
第2学期	7	4章 指数関数と対数
	8	1節 指数関数
	9	2節 対数関数
	10	【中間考査】
	11	5章 微分と積分
第3学期	1	1節 微分係数と導関数
	2	2節 導関数の応用
	3	【期末考査】
	4	5章 微分と積分
	5	3節 積分
	【期末考査】	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	普通 コース	2	数学科

使用教科書等	出版社
独自教材(プリント)	

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の基本的な概念を理解し、基本的な計算能力をしっかりと身に付けさせる。 ・自学自習の習慣をつける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに、中間考査・期末考査を実施し、その得点により評価を行う。	日常の学習態度、プリントの提出状況などで総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	基本的な計算練習 一般常識の数学
	5	
		【中間考査】
	5	基本的な計算練習 一般常識の数学
	6	
		【期末考査】
第2学期	7	基本的な計算練習 一般常識の数学
	9	
		【中間考査】
	10	基本的な計算練習 一般常識の数学
	11	
		【期末考査】
第3学期	1	基本的な計算練習 一般常識の数学
	2	
	3	【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅱ	3	進文 コース	3	数学科

使用教科書等	出版社
改訂版 新編 数学Ⅱ /改訂版 3TRIAL 数学Ⅱ+B	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各単元の基本的事項の内容の理解を深めると同時に、数学Ⅰ・Aとの関連性を確認しながら、高校数学の基本的な力を定着させる。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業での基本的な学習内容に加えて、応用レベルへの問題に対する取り組みと理解度を確認する。また、一定時間内に解法する中で、正確に解答を導き出す能力が身についているかを1、2学期に2回、3学期に1回のペーパーテストで評価する。	週末・長期休業中において、課題を課し、その提出状況・学習内容の理解度をチェックして評価する。授業中の演習問題に対する取り組み方も評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	<前年度の残り> 数学B 第1章 2節 7. 図形のベクトルによる表示 【中間考査】
	5 6 7	数学B 第2章 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間における図形 【期末考査】
第2学期	7 8 9 10	数学Ⅱ 第6章 1節 微分係数と導関数 2節 関数の値の変化 【中間考査】
	10 11 12	数学Ⅱ 第6章 3節 積分法 【期末考査】
第3学期	1 2 3	▽ 総合的な計算力を付ける演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	進文 コース	2	数学科

使用教科書等	出版社
改訂版 新編 数学Ⅱ 独自教材(プリント配布)	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念・公式等の再確認をする。 ・問題演習に取り組むことで、応用力を高める。 ・センター試験に対応できるようにする
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに中間考査・期末考査を実施し、その得点により評価を行う。	課題・プリント等の提出物、日常の学習態度などを総合的に点数化し、合計して平常点とする。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	数学Ⅱ
	5	第5章 指数関数と対数関数 第2節 対数関数 3 対数とその性質 【中間考査】
	5 7	4 対数関数 5 常用対数 【期末考査】
第2学期	7 10	数学Ⅰ・Aの総合演習 【中間考査】
	10 12	数学Ⅰ・Aの総合演習 【期末考査】
第3学期	1 3	数学Ⅰ・Aの総合演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅲ	3	進学理系 コース	6	数学科

使用教科書等	出版社
改訂版 新編 数学Ⅲ / 3TRIAL 数学Ⅲ	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念，公式を十分に理解する。 ・問題集で計算力や応用力を高め，模試や入試に対応できる学力を養う。 ・主体性を持って他者と関わり，集団を高める態度を養う。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業で学習する基本的な内容の理解度を確認する。また、問題集や参考書にある応用的な内容への取り組みとその理解度を確認する。 各学期ごとに中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の授業態度や課題の出来具合、ノート提出により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	▽ 数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの復習 【中間考査】
	5	
	5	▽ 極限（数列の極限，関数の極限，三角関数の極限）
	5	▽ 微分法 （導関数，導関数の公式，逆関数・三角関数・対数関数・指数関数の導関数）
	6	▽ 微分法の応用（接線の方程式，グラフの凹凸） 【期末考査】
	第2学期	7
10		
1		▽ 複素数平面（極形式，ド・モアブルの定理）
0		▽ 式と曲線（放物線，楕円，双曲線，媒介変数表示と極座標）
1		▽ 関数（分数関数，無理関数，逆関数と合成関数） 【期末考査】
第3学期	1	▽ 入試対策（問題演習） 【期末考査】
	2	
	1	
	2	
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	理系 コース	2	数学科

使用教科書等	出版社
リンク数学演習 I・A+II・B 独自教材(プリント配布)	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念・公式等の再確認をする。 ・問題演習に取り組むことで、応用力を高める。 ・センター試験に対応できるようにする
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに中間考査・期末考査を実施し、その得点により評価を行う。	課題・プリント等の提出物、日常の学習態度などを総合的に点数化し、合計して平常点とする。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	アプローチ 【中間考査】
	5 7	アプローチ+ベイシック 【期末考査】
第2学期	7 10	ベイシック 【中間考査】
	10 12	ベイシック+チャレンジ 【中間考査】
第3学期	1 3	チャレンジ6 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅱ	3	特文 コース	4	数学

使用教科書等	出版社
数学Ⅱ-改訂版-ノアドバンスプラス改訂版数学ⅡB/FocusGold数学ⅡB/大学入試センター試験対策問題集	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念、公式を十分に理解させる。 ・問題集で計算力、応用力を高める。 ・模試や入試に対応できる学力を養う。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業で学習する基本的な内容の理解度を確認する。また、問題集や参考書にある応用的な内容への取り組みとその理解度を確認する。 各学期ごとに中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の授業態度や小テストの出来具合、課題提出により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	センター試験対策 問題演習 【中間考査】
	5 6	センター試験対策 問題演習 【期末考査】
第2学期	7 10	センター試験対策 問題演習 【中間考査】
	1 11	センター試験対策 問題演習 【期末考査】
第3学期	1 2 3	センター試験対策 実践問題演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	特文 コース	2	数学科

使用教科書等	出版社
センター試験対策問題集数学 I・A・II・B改訂版	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	数学 I・Aの範囲を総復習し、センター試験に対応できる学力を習得する。
---------	-------------------------------------

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに、中間考査・期末考査を実施し、その得点により評価を行う。	日常の授業態度や課題の出来具合、ノート提出により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ┆ 5	数と式 2次関数 【中間考査】
	5 ┆ 7	図形と方程式 データの分析 【期末考査】
第2学期	7 ┆ 10	場合の数と確率 図形の性質 整数の性質 【中間考査】
	1 0 ┆ 1 2	センター試験形式の問題演習 【期末考査】
第3学期	1 2 ┆ 1	センター試験形式の問題演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅲ	3	特理 コース	6	数学

使用教科書等	出版社
数学Ⅲ-改訂版-/アドバンスプラス改訂版数学Ⅲ/FocusGold数学Ⅲ	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な概念、公式を十分に理解する。 ・ 問題集で計算力、応用力を高める。 ・ 2次試験に対応できる学力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業で学習する基本的な内容の理解度を確認する。また、問題集や参考書にある応用的な内容への取り組みとその理解度を確認する。各学期ごとに中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の授業態度や小テストの出来具合、課題提出により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容	
第1学期	4	第1章 複素数平面 第1節 複素数平面(2年次に学習済み) 第2節 平面図形と複素数	
	5	第2章 平面上の曲線 第1節 2次曲線 【中間考査】	
		第2節 媒介変数表示と極座標	
	5	第3章 数列の極限 第1節 無限数列 第2節 無限級数	
		6	第4章 関数とその極限 第1節 分数関数と無理関数 【期末考査】
	第2学期	7	第2節 関数の極限と連続性
10		第5章 微分法 第1節 微分と導関数 第2節 いろいろな関数の導関数 第3節 導関数と関数のグラフ 第4節 微分法の応用 【中間考査】	
		10	第6章 積分方 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分方の応用 【期末考査】
第3学期		1	入試対策 問題演習 【期末考査】
		2	
		3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	特理 コース	2	数学科

使用教科書等	出版社
センター試験対策問題集数学Ⅰ・A・Ⅱ・B改訂版	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	数学Ⅱ・Bの範囲を総復習し、センター試験に対応できる学力を習得する。
---------	------------------------------------

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに、中間考査・期末考査を実施し、その得点により評価を行う。	日常の授業態度や課題の出来具合、ノート提出により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ┆ 5	数列 ベクトル 【中間考査】
	5 ┆ 7	式の計算と方程式 図形と方程式 【期末考査】
第2学期	7 ┆ 10	いろいろな関数 微分法と積分法 【中間考査】
	1 0 ┆ 1 2	センター試験形式の問題演習 【期末考査】
第3学期	1 2 ┆ 1	センター試験形式の問題演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	3学年(男)	普通コース	3	保健体育科

使用教科書等	出版社
Active Sports 2017 [総合版]	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。 体力向上のために運動の合理的な行い方を身につける。	運動の意義や必要性を理解する。 運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身につける。 3学期は期末考査を実施。	計画的に、自ら進んで行うことで運動の楽しさや喜びを味わう。 健康・安全に関心を持ち、意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	◇オリエンテーション ◇スポーツテスト①・集団行動
	6	◇バレーボールゲーム ●実技試験
第2学期	7	◇体づくり運動 ◇スポーツテスト② ◇陸上競技 ハードル走 砲丸投げ ●実技試験
	11	◇バスケットボール ドリブルシュート オフエンス練習・ディフェンス練習 ゲーム ●実技試験
第3学期	1	◇体育理論 ◆期末考査

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	3	普通(女)コース	3	保健体育科

使用教科書等	出版社
Active SPports 2019 [総合版]	大修館出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子をを整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。 体力向上のために運動の合理的な行い方を身に付ける。	運動の意義や必要性を理解する。 運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身に付ける。 3学期は期末考査を実施	計画的に、自ら進んで行うことで、運動の楽しさや喜びを味わう。 健康・安全に関心を持ち意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	◇オリエンテーション ◇スポーツテスト①(運動能力テスト) ◇体づくり運動 ◆実技試験(高校生体操)
	5	◇陸上競技 ①ハードル走 ⑤走り幅跳び ⑥砲丸投げ ◆実技試験(記録…各種目)
第2学期	7	◇スポーツテスト②(体力診断テスト) ◇体づくり運動 ◇民踊(米子音頭・火の国太鼓) ◇バスケットボール ①パス ②ドリブル ③シュート ④ゲーム(チーム編成) ⑤実技理論(ルール)
	10	◆実技試験(パス・ドリブル・シュート) ◇バレーボール ①レシーブ ②パス ③サーブ ④ゲーム(チーム編成) ⑤実技理論(ルール) ◆実技試験(パス・ドリブル・シュート)
第3学期	12	◇体育理論(3単元 豊かなスポーツライフの設計) ◇実技理論(陸上競技・バスケットボール・バレーボール) ◆期末考査(40点)
	2	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	3男	特文理・進文理 コース	2	保健体育科

使用教科書等	出版社
Active SPports 2017 [総合版]	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。 体力向上のために運動の合理的な行い方を身に付ける。	運動の意義や必要性を理解する。 運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身に付ける。 3学期は期末考査を実施する。	計画的に、自ら進んで行うことで、運動の楽しさや喜びを味わう。 健康・安全に関心を持ち意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	◇オリエンテーション ◇スポーツテスト②・集団行動 ●高校生体操テスト
	6	◇サッカー パス・ドリブル・シュート ゲーム ●実技試験
第2学期	7	◇体づくり運動 ◇スポーツテスト① ◇陸上競技 走り幅跳び・砲丸投げ ●実技試験
	10	◇バレーボール パス・アタック・サーブ ゲーム ●実技試験
第3学期	1 2	◇バレーボール ゲーム
	1	◇体育理論 ◆期末考査

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	3女	特文理・進文理 コース	2	保健体育科

使用教科書等	出版社
Active SPports 2017 [総合版]	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。 体力向上のために運動の合理的な行い方を身に付ける。	運動の意義や必要性を理解する。 運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身に付ける。 3学期は期末考査を実施する。	計画的に、自ら進んで行うことで、運動の楽しさや喜びを味わう。 健康・安全に関心を持ち意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	◇オリエンテーション ◇スポーツテスト②・集団行動
	6	◇陸上競技 ハードル走 砲丸投げ 走り幅跳び ●実技試験
第2学期	7	◇民踊(体育祭練習) ◇体づくり運動 ◇スポーツテスト① ◇サッカー パス&コントロール ドリブル・シュート ゲーム ●実技試験
	10	◇バスケットボール パス・シュート 対人練習 ゲーム ●実技試験
第3学期	1 2	◇バスケットボール ゲーム
	1	◇体育理論 ◆期末考査

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語 I	3	普通 コース	3	英語科

使用教科書等	出版社
VISTA English Communication II New Edition	三省堂

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を養う。 ②表現能力(話す・読む・書く)を養う。 ③易しい英語の文章を理解する能力を養う。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストのでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4月 5月	Part 2 Lesson 6 Becoming the Best
	5月 7月	Lesson 7 The Galapagos Islands
第2学期	7月 9月	Lesson 8 Shodo, Old and New
	10月 12月	Lesson 9 Water World
第3学期	1月	Lesson 10 A long Friendship
	3月	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	普通 コース	2	英語

使用教科書等	出版社
Vivid II English Expression New Edition	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を養う。 ②情報や考えを的確に理解する。 ③自分の意見や考えを適切に表現する。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストのでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ~ 5	Lesson1 Enjoying my school life
	5 ~ 7	Lesson2 I've lived here all my life Lesson3 I want to hear your performance
	7 ~ 10	Lesson4 I like shopping Lesson5 I want to study robotics
	10 ~ 12	Lesson6 Great people I respect Lesson8 What language do they speak there?
第3学期	1 ~ 2	Lesson9 Do you like your job? Lesson20 My future career
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅲ	3	進文理 コース	5	英語

使用教科書等	出版社
Grove English Communication III	文英堂

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を養う。 ②情報や考えを的確に理解する。 ③自分の意見や考えを適切に表現する。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、VITAL、単語テストのでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期		UNIT 1
	4	Lesson 1 Plastic Food Samples
	~	Lesson 2 Cheese Rolling
	5	Lesson 3 Chocolate Shortage
		Lesson 4 Bamboo Trains
	5	Lesson 5 The Animal Lounge
	~	Lesson 6 Brinicles
	7	Lesson 7 The Hemline Index
第2学期	7	Lesson 8 Holiday Weight Gain
	~	Lesson 9 Socotra - The Galapagoes of
	1	Lesson 10 NEWater
	0	Lesson 11 Bed Nets for African Children
	1	Lesson 12 A Fethery Found in Amber
	0	UNIT 2
	~	Lesson 13 Snow Monkeyes
1	Lesson 14 Spot Fake News	
第3学期	1	Lesson 15 EcoScraps: A Million-dollar Business
	2	Lesson 16 Earth Hour
	~	2

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	進学文系 コース	3	英語科

使用教科書等	出版社
Vision Quest English Expression II Ace	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストのでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4月 5月	Lesson 13
	5月 7月	Lesson 14 Lesson 16 Lesson 20
	7月 9月	Part 2 Lesson 1 Lesson 2
第2学期	10月 12月	Lesson 3 Lesson 4
	1月 3月	Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	進学 コース	2	英語科

使用教科書等	出版社
Vision Quest English Expression II Ace	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストのでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4月 5月	Lesson 13
	5月 7月	Lesson 14 Lesson 16 Lesson 20
	7月 9月	Part 2 Lesson 1 Lesson 2
第2学期	10月 12月	Lesson 3 Lesson 4
	1月	Lesson 5 Lesson 6
第3学期	3月	Lesson 7 Lesson 8

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅲ	3	特文 コース	5	英語

使用教科書等	出版社
Revised LANDMARK English CommunicationⅢ	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①語彙習得をさらに進め、言葉や文化を見直し、幅広い関心・意欲・態度を養う。 ②文法や構文を用いて、自分の意見や感動を表現できる力を養う。 ③自分の意見や考えを伝え合い、理解し合うコミュニケーション能力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容、および応用問題を出題する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、プレゼンテーション、小テストの出来具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	Lesson 1 Caffeine: The World's Favorite Drug
	5 6 7	Lesson 2 Blood is Blood Lesson 3 Australia and its Creatures
第2学期	7 8 9 10	Lesson 5 Bilingual Effects in the Brain Lesson 7 Political Correctness
	1 0 1 2	Lesson 9 The Story of My Life 入試問題集
第3学期	1 2 3 2	入試問題集

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	特文 コース	3	英語科

使用教科書等	出版社
Dual Scope English Expression II	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開及び表現方法を工夫して、他者に伝える能力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	原則として、各学期に中間・期末考査を実施し、総合的な英語力(文法の知識、英作文の表現力)を確認し評価する。	授業中のペアワーク等での取り組み姿勢、プリント・ワーク・課題等の提出物、プレゼンテーション(発表)などを総合的に評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期		Unit 21 Appealing to the World Unit 28 Introducing things and events
		Unit 29 Proposing ideas Unit 30 Raising issues Unit 31 Weighing pros and cons
第2学期		Unit 32 Presenting ideas clearly and effectively Unit 33 Taking part in a discussion Unit 34 Choosing sides in a debate
		センター演習
第3学期		センター演習

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅲ	3	特理 コース	5	英語科

使用教科書等	出版社
LAMDMARK III	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	語彙・文法・構文を理解し、英語の長文読解力を高め、そしてセンター試験及び大学入試2次試験に対応できる総合的な英語力を身につける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	原則として、各学期に中間・期末考査を実施し、総合的な英語力を確認し評価する。	授業中の小テスト、プリント・課題等の提出物、プレゼンテーション(発表)などを総合的に評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期		Lesson1
		Lesson2 Lesson3
第2学期		Lesson5 Lesson7
		Lesson9 センター演習
第3学期		センター演習

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	特進理系 コース	2	英語科

使用教科書等	出版社
DUALSCOPE English Expression II	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	原則として、各学期に中間・期末考査を実施し、総合的な英語力を確認し評価する。	授業中の小テスト、プリント・ノート・課題等の提出物、授業中の取り組み姿勢などを総合的に評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	Section 1 Stage 2 Unit 21
	5 6	Section 2 Unit 23
第2学期	7 8	Section 2 Unit 24
	10 11 12	Section 2 Unit 25
第3学期	1 3	Section 2 Unit 26